



(株)農業情報設計社 技術セミナー

“ISOBUS の通信と適合性試験（コンフォーマンステスト）の実践”

昨今国内外において農業機械間の情報通信・制御が広まりつつあります。本セミナーではこれらの基盤となっている ISOBUS (ISO 11783) について、その通信内容の詳細と市販化に際し必要な適合性試験（コンフォーマンステスト）に関する知見を提供いたします。

1. セミナー名称
ISOBUS の通信と適合性試験（コンフォーマンステスト）の実践
2. 日時
2015 年 8 月 27 日(木曜日) 9:30～16:30、
3. 場所
とかちプラザ 3 F 特別会議室
〒080-0014 北海道帯広市西 4 条南 1 3 丁目 1
電話:0155-22-7890
4. 対象者：農業機械メーカー、ICT 企業の組み込みエンジニアを中心とした技術者
5. 定員：20 名
6. 内容
(1) ISOBUS の概要
(2) ISOBUS の通信内容
(3) 適合性試験（コンフォーマンステスト）の概要
(4) 適合性試験（コンフォーマンステスト）のセットアップ
(5) 適合性試験（コンフォーマンステスト）の実践
7. 参加費
50,000 円・人
8. お申し込み、お問い合わせ先について
〒080-0018 北海道帯広市西 8 条南 4 0 丁目 1 番 6 号
株式会社農業情報設計社
TEL/FAX 0155-67-8394
Email: contact@agri-info-design.com

“ISOBUS の通信とその相互接続試験（コンフォーマンステスト）” セミナーご案内

1. ISOBUS の概要

ISOBUS は、農業機械の内部、あるいはトラクタと作業機等の農業機械の間で、走行速度や PTO 回転数等の情報を送受信する際の通信プロトコル（通信手順の規定）や、実装や適合試験（対象の機器が規定に合致するかどうかを確認する試験）に関する項目を、ベースとなる国際標準（ISO11783）を基に業界団体（AEF：Agricultural Industry Electronics Foundation≒農業電子工業財団）が規定したものです。昨今欧米を中心に対処機種種の普及が進んでいます。

2. 適合性試験（コンフォーマンステスト）の概要

ISOBUS に対応する農業機械とその周辺機器を「ISOBUS 準拠」と呼ぶためには、AEF が実施する認証試験を行い合格する必要があります。適合性試験（コンフォーマンステスト）は主にソフトウェアが所定の動作要件を満たすかどうかを確認する試験であり、「テストシーケンス」と呼ばれるテストツールが AEF の会員企業に公開されているので、このテストツールを用いて事前に確認することで認証試験にかかる時間と費用の低減を図ることが可能です。

3. 本コースの概要

本コースでは ISOBUS の概要と具体的な通信内容に関するレクチャーの後、適合性試験（コンフォーマンステスト）の紹介と実際の試験の手順、試験結果のフィードバックの流れをお示しいたします。

4. 日程

(1) ISOBUS の概要	1 時間
(2) ISOBUS の通信内容	1 時間 30 分
(3) 適合性試験（コンフォーマンステスト）の概要	30 分
(4) 適合性試験（コンフォーマンステスト）のセットアップ	1 時間
(5) 適合性試験（コンフォーマンステスト）の実践	2 時間 30 分

※時間は目安であり、休憩時間を含みます。

5. その他

すでにコンフォーマンステストツールとテストインターフェースをお持ちの方は効率的な実習のために、御持参頂くことをお勧めいたします。